

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	とことん		
○保護者評価実施期間	令和7年2月5日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年2月5日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達状況に応じた個別プログラムを作成し、適切な支援を提供している。	療育内容について、いつでも相談できる環境であり、一緒に考えたりアドバイスしあったりできている。	チームとしてより一層連携し、報告・連絡・相談を大切にしていける。
2	視覚的・身体的アプローチを活用し、子どもが理解しやすい環境を整えている。	一貫した流れを作り、子どもが自己肯定感を育む支援を意識している。また、安心して活動できる環境を整備。	保護者との定期的な面談やフィードバックを行い、共通理解を深める。
3	保護者は安心し、子どもは楽しく通所できている。	どのスタッフが対応しても質の高い療育が提供できるように、ミーティング等で細かなところまで伝えて、共通理解ができている。	継続的な研修をおこなう。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援計画作成や個別対応の負担が大きくなりがち。	質の高い支援を維持するための十分な時間確保が難しい。	ICTツールの活用などで、支援計画作成や記録業務の負担を軽減する。
2	一人ひとりの発達特性に合った対応が求められ、支援の難易度が高い。	お子さまの状況に応じた対応ができる知識やスキルを積む。	研修や実習機会を増やし、専門性の高いスタッフの育成を進める。